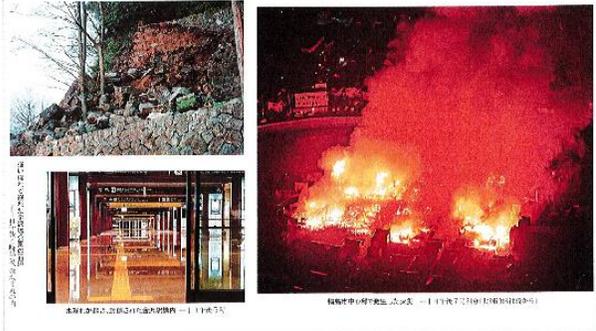


『令和6年能登半島地震おける救急活動について』

元日の県内 激震



県内 大地震



倒壊生き埋め6件、輪島大火事



北国新聞
特別号外
主な内容
志賀震度7 輪島津波1.2m
M7.6金沢で震度5強
各地で負傷者

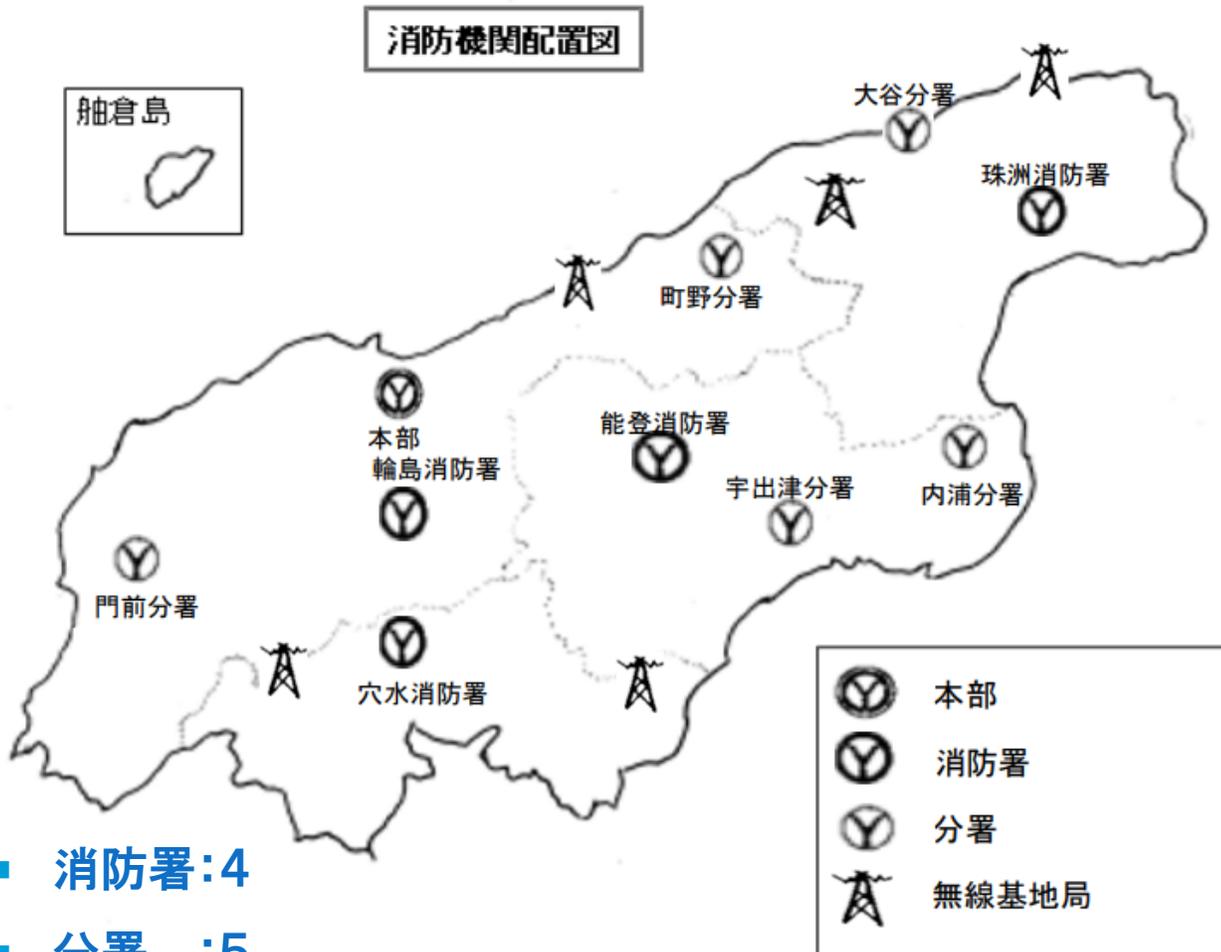


石川県
奥能登広域圏事務組合消防本部
警防課 至令 護

-
- ✓ オフライン状況での活動について
 - ✓ 被災地における緊急援助隊の活動について
 - ✓ 避難先における救急件数の推移について

オフライン状況での活動について

(令和5年4月1日)



- 消防署:4
- 分署 :5
- ※消防本部は、輪島消防署と同一建物
- 構成市町:輪島市、珠洲市、能登町、穴水町

令和5年12月末日現在

地域	総数	男性	女性
輪島市	23,118	10,923	12,195
珠洲市	12,573	5,851	6,722
能登町	15,187	7,239	7,948
穴水町	7,347	3,537	3,810
計	58,225	27,550	30,675

面積 1,130 km²

オフライン状況での活動について



➢ 通信障害によりオフライン地区が発生。

➢ 道路の陥没や隆起、土砂崩れ等による通行障害が発生。

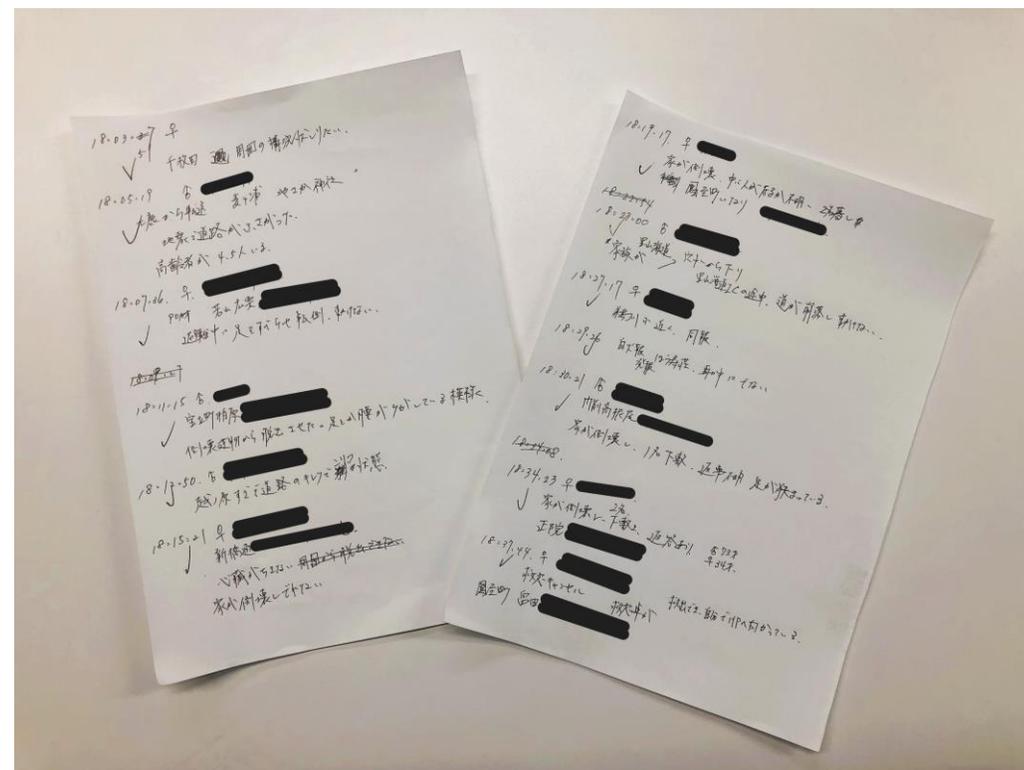


オフライン状況での活動について

発災からの119番受信件数

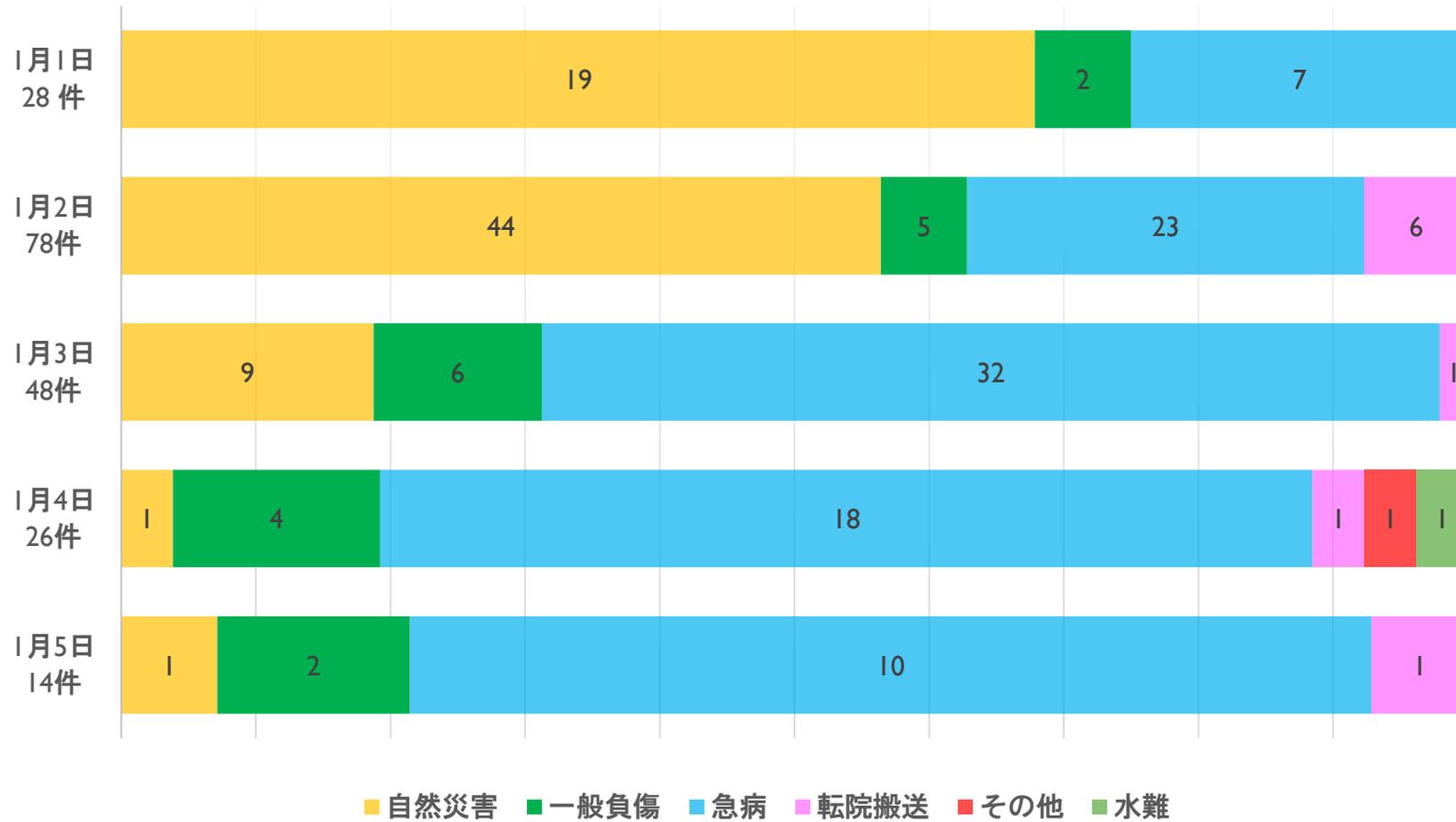
1月1日	1月2日	1月3日	1月4日	1月5日
391件	387件	172件	118件	125件

発災時の119番受信件数については通常時の約30倍



- メモ用紙により119番受信内容を記録
- 各所属へ一般電話にて出動要請

発災からの救急出動件数（奥能登消防本部出動分）



令和5年出動件数
1日平均 9件
最大値 20件
最頻値 11件



大規模災害時の通信途絶における救急救命処置

発生場所	覚知日	覚知時刻	内容	事故種別	年齢	性別	傷病名
輪島市	1月1日	16:25	心肺機能停止	自然災害	不明	女	右大腿開放骨折 出血性ショック
珠洲市	1月1日	17:04	心停止前輸液	自然災害	69	女	右下腿開放性骨折
珠洲市	1月2日	11:02	心停止前輸液	自然災害	49	男	クラッシュ症候群
珠洲市	1月2日	16:01	心停止前輸液	自然災害	60	女	右下腿コンパートメント症候群
珠洲市	1月3日	8:55	心停止前輸液	急病	17	女	失神
珠洲市	1月3日	10:39	ブドウ糖投与	急病	86	男	非閉鎖性腸管虚血の疑い
能登町	1月4日	19:17	心肺機能停止	急病	71	男	心不全
珠洲市	1月5日	4:30	心肺機能停止	急病	68	男	急性心不全
穴水町	1月5日	18:02	心停止前輸液	急病	79	男	高度脱水

(様式〇〇)

包括的特定行為事後報告書

消防本部(局)名 _____

事案の概要	発生日時	令和 年 月 日 時 分頃	
	実施場所	<input type="checkbox"/> 現場 <input type="checkbox"/> 車内収容後 <input type="checkbox"/> 搬送途中 <input type="checkbox"/> その他()	
	実施者	救急隊名 _____ 氏名 _____ (※認定救命士氏名を記載)	
	実施内容	<input type="checkbox"/> CPA <input type="checkbox"/> 心停止前輸液 <input type="checkbox"/> ブドウ糖	
		<input type="checkbox"/> 多数傷病者一括要請	<input type="checkbox"/> 消防無線/携帯電話不感地帯 <input type="checkbox"/> 大規模災害
指示医師	医療機関名 _____ 医師 _____		
包括的特定行為に至った状況	※不感地帯で発生した事案については通信の途絶状況や通信手段の確保に関して講じた措置内容、代替手段がないと判断した根拠や理由についても記載すること。		
特定行為の経過	※傷病者の切迫性について詳細に記載すること。		

※事後検証票に添付し報告すること。

石川県 MC 協議会

被災地における緊急援助隊の活動について

緊急援助隊応援隊出動状況

統括指揮支援隊

指揮支援隊

自衛隊ヘリによる人員輸送

名古屋市消防局
活動場所 石川県庁

大阪市消防局
活動場所 輪島市
1月2日 早朝到着

京都市消防局
活動場所 珠洲市
1月2日 早朝到着

新潟市消防局
活動場所 能登町
1月2日 早朝到着

県内応援隊

金沢市消防局（代表本部）
活動場所 穴水町
1月2日 深夜到着

緊急援助隊計

18府県
隊数：543隊
隊員：2,029名

県内応援隊計

隊数：20隊
隊員：59名



➤ 救急活動の流れ



➤ 緊急援助隊による奥能登管轄地域での救急出動件数「1,094件」

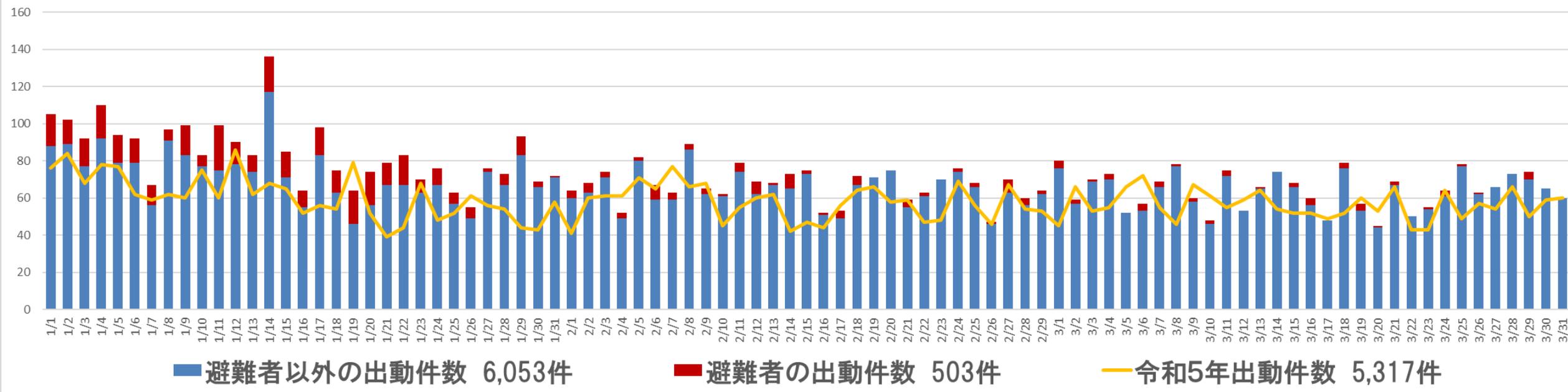
➤ 主な事故種別：急病・転院搬送
『ライフラインが確保出来ない高齢者施設からの搬送』

活動における統一事項

- 「搬送先」
- 「プロトコル」
- 「明らかな死亡」
- 「通信方法（無線）」
- 「出動時について」
- 「燃料補給」

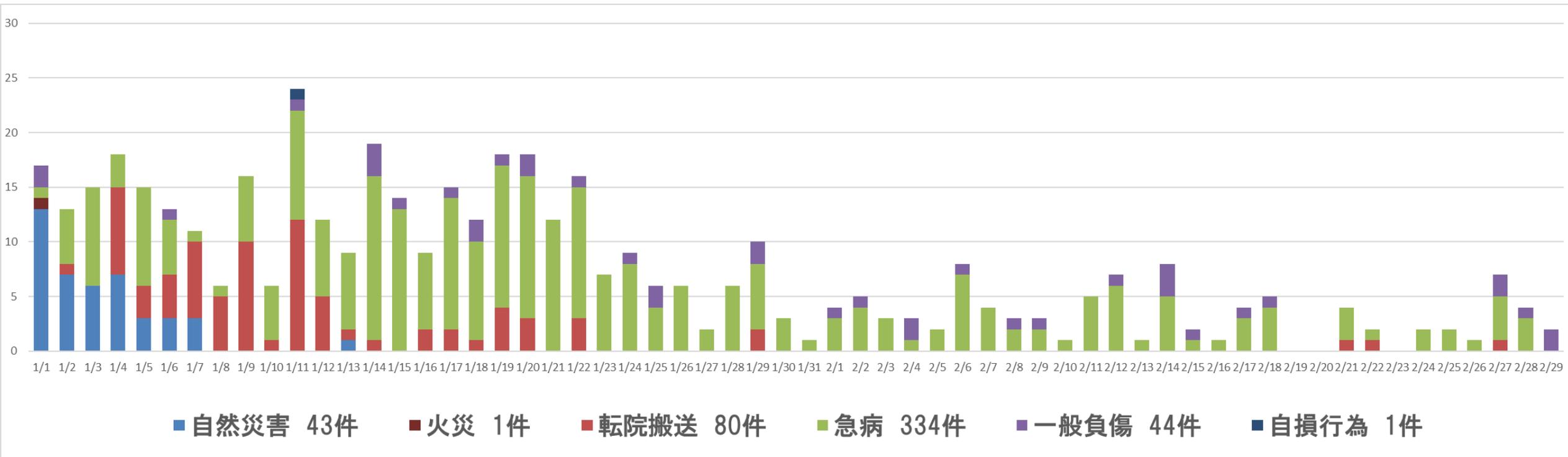
金沢市における1月1日から3月31日までの救急件数

全救急出動における避難者対応件数



- 金沢市消防局では地震が発生した1月1日から28日までの4週間の「救急搬送困難事案」は105件と、昨年1月の4週間に比べて17件の増加。
- 「地震の影響で病床の空きがなくなり、搬送先の決定に時間がかかるケースが相次いでいる」として、救急車を本当に必要とする人のため、ふだん以上に適正に利用してほしいと呼びかけ。
- 1月9日より臨時として救急隊を1隊増隊し対応。

事故種別ごとの避難者対応件数



- 避難者対応出動件数：503件
- 搬送人員：500名
- 主な事故種別：急病
- 高齢者搬送割合：92%
- 傷病程度 死亡：2% 重症：4% 中等症：85% 軽症：9%

課題・まとめ

- 通信途絶時による医師への連絡手段の確保。
- 応援隊用に統一した搬送連絡票（記録）の様式が必要。
- 長距離搬送（往復10時間）での食料、燃料、トイレ等の隊員負担。
- 救急中隊長が小隊を管理するためのツールが必要。
- 半島地震では孤立地区の発生がリスクが高いことからへりの早期介入が必要。
- アテンドとして地元消防職員が同乗したことにより出動経路選定や医療機関への搬送が適切に行われた。

『能登が示す、ふるさとの未来 Noto, the future of country』



輪島市 白米千枚田 あぜのきらめき



珠洲市 禄剛埼灯台



能登町 あばれ祭



穴水町 沖波大漁祭り